

村民意向調査の結果について（速報）

- 調査目的：震災の復興に関する村民の意向を把握し、復興計画策定にあたっての基礎資料とする。
- 調査対象：村内の全世帯 854 世帯
- 調査期間：平成 24 年 1 月 11 日～1 月 23 日
- 調査方法：区長を通じて全世帯に配布し、郵送により回収
- 調査結果：回答数 435 世帯（回答率 50.9%）

■ 集計結果

◆回答者の内訳

【居住地域】

地区名	対象数 (a)	回答数		回答率 (b/a)
		(b)	構成比	
白鳥	70	28	6.4%	40.0%
平滝	56	28	6.4%	50.0%
横倉	30	15	3.4%	50.0%
青倉	40	24	5.5%	60.0%
森・塩尻	92	39	9.0%	42.4%
泉平	24	13	3.0%	54.2%
箕作	47	27	6.2%	57.4%
月岡	43	27	6.2%	62.8%
小滝	11	8	1.8%	72.7%
野田沢	25	19	4.4%	76.0%
大久保	18	13	3.0%	72.2%
天地	4	3	0.7%	75.0%
雪坪	11	7	1.6%	63.6%
志久見	37	19	4.4%	51.4%
柳在家	18	6	1.4%	33.3%
切欠	13	4	0.9%	30.8%
長瀬	27	11	2.5%	40.7%

地区名	対象数 (a)	回答数		回答率 (b/a)
		(b)	構成比	
笛原	7	3	0.7%	42.9%
原向	22	10	2.3%	45.5%
当部	7	4	0.9%	57.1%
天代	6	5	1.1%	83.3%
北野	15	11	2.5%	73.3%
坪野	9	7	1.6%	77.8%
中野	11	6	1.4%	54.5%
極野	25	12	2.8%	48.0%
小赤沢	44	15	3.4%	34.1%
屋敷	31	19	4.4%	61.3%
上野原	17	11	2.5%	64.7%
和山	11	5	1.1%	45.5%
切明	2	0	0.0%	0.0%
五宝木	9	2	0.5%	22.2%
仮設	50	18	4.1%	36.0%
村外	22	5	1.1%	22.7%
無回答	—	11	2.5%	—
合計	854	435	100.0%	

【家族形態】

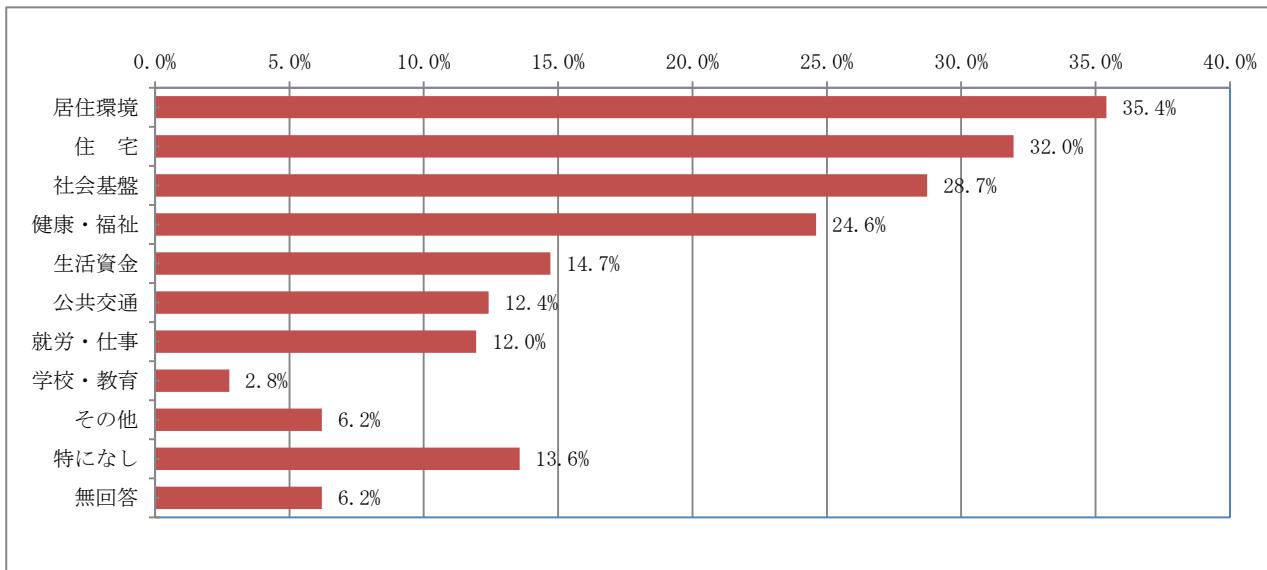
区分	回答数	構成比
ひとり暮らし	85	19.5%
夫婦だけ	160	36.8%
親と子（2 世代）	122	28.0%
祖父母と親と子（3 世代）	47	10.8%
その他	14	3.2%
無回答	7	1.6%
合計	435	100.0%

◆震災により困っていることについて（複数回答・3つまで）

① 居住環境（普請、集落の維持 等）	35.4%
② 住 宅	32.0%
③ 社会基盤（道路、上下水道 等）	28.7%

※割合（%）は総数（n=435）に対する割合

※枠内は上位3項目を記載



【具体的な内容】

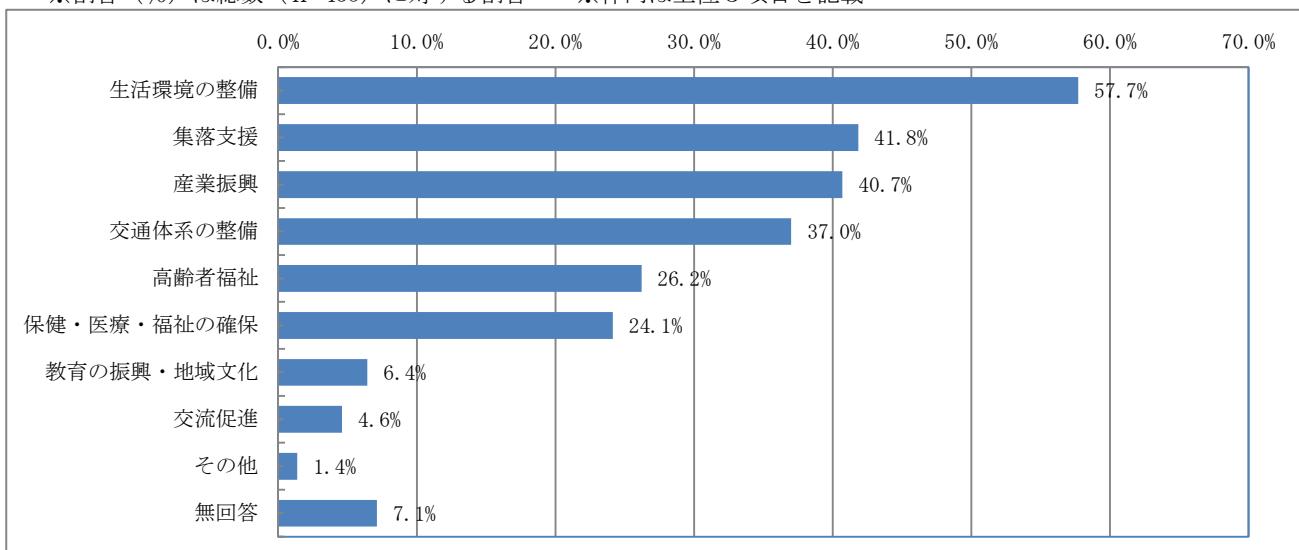
＜主なご意見等＞・・・現在、集計中

◆復興に当たって、期待する取り組みについて（複数回答・3つまで）

① 生活環境の整備（住宅の整備、雪対策、インフラ整備 等）	57.7%
② 集落支援（集落機能の維持、地域づくり 等）	41.8%
③ 産業振興（農林畜産業、商業、観光業の振興 等）	40.7%

※割合（%）は総数（n=435）に対する割合

※枠内は上位3項目を記載



【具体的な内容】

＜主なご意見等＞・・・現在、集計中

◆復興計画の構成（案）について（自由記述）

＜主なご意見等＞

○若者がたくさん暮らせることは大いに賛成だが、それにはやはり産業振興がカギになる。具体的な施策を早く示してほしい。栄村に帰ってきたくとも、帰って来られない若者がいるのが事実である。

○基本理念にあげている『豊かで安心して暮らせる』『再生モデルとなる』の2点の実現に大いに期待している。

○スローガンのような村を望んでいる。若者の定住が何よりも大事だと思う。村として集中した取り組みが必要だと思う。

○農業に興味のある若者が農業を始められる環境づくり。栄村の資源を活かした産業の再生は、とてもおもしろいと思う。

○スローガン、基本理念、三つの基本方針、三つの前提のいずれも良いと思うが、復興を担うのは住民自身であることを忘れずに、行政は住民の思いを受けとめ、国の制度や法律がなくても住民と共に実現をしていくという確固たる態度をもってもらいたい。

○就労の場所をつくらないと、スローガンは掛け声で終わってしまう。Iターン、Uターン者を積極的に受け入れる地域（集落）でなければならない。集落再生には、10年先や20年先を考え、集落NPOが必要だと思うので、村はここに支援して設立を促がしてはどうでしょうか。三つの基本方針（案）の農業を軸に資源を活かした産業を扱うとあるが、農業・林業、森林を軸に資源としてほしい。

○前提、基本方針は良いと思う。ただ今住んでいる人が、ちゃんと生活していくことが大切だと思う。

○村民は過疎化の流れの中で、村での生活に対し不安や失望を感じている。その上で、この震災のショック、心の傷は大変深いものがある。「スピード感ある復興を」ということも重要だとは思うが、村民の気持ちが前向きになるには、1人1人の気持ちを出すことのできる場作りと時間も必要だと思う。計画だけが先行し、肝心の村民がついていけないようなことにならないように、たえず村民に耳を傾け続けてほしい。

○復興計画の策定に当たり、その計画の内容が今後の行政に反映するように、努力目標の設定や執行状況の検証を行うようにしてもらいたい。また、沢山の方の意見も大切ですが、計画の目標がブレないように取りまとめてほしい。

○スローガンとても良いと思う。人口減少、集落機能の低下等が進む中ではあるが、この震災をきっかけに村が飛躍するチャンスでもあると思う。若者がたくさん暮らしていけるよう、定住対策をより進めてほしい。Iターン・Uターン者を迎えるには、仕事・住居・生活環境が大事になってくる。基本方針にある農業を軸に資源を活かした産業振興に期待したい。

○この構成案がしっかりと作成されれば、希望の持てる村づくりが出来ると思う。策定委員会の中で、一生懸命農業に取り組む人達の意見、要望を聞き取り調査をして、いかに計画案を作成するかにかかっている。

○スローガンは長く、言いにくい、覚えづらい。気持ちは分かるが「震災に負けない、元気な声が響く村」の方が良いのでは。計画を実行するには、実践部隊をいかに育てるかが課題である。

◆栄村の将来ビジョンについて（自由記述）

＜主なご意見等＞ ・・・現在、集計中